

第4章 判定区分に基づく対応

(1) 健診結果の説明

健診後は、「おとなのオーラルケア健診結果」を用いて健診結果を受診者に説明します。

- ・ 結果の説明にあたっては、口腔内がどのような状況であるかを具体的に受診者に知らせることが重要です。
- ・ 治療が必要な部位や歯肉の炎症等について、手鏡等を使用して受診者が確認できるようにすると効果的です。特に、歯周病は自覚症状を伴わずに進行している場合も多いことから、ポケットの深さ等をWHOプローブ等で示しながら、病態や進行度について正しい理解が得られるように努めてください。
- ・ 問診により、歯周病との関係が指摘されている基礎疾患や妊娠、生活習慣等が認められた場合は、その関係性について指摘し、必要に応じて医療機関への受診勧奨を行います。
- ・ 適切なセルフケアとかかりつけ歯科医でのプロフェッショナルケアにより、歯肉の炎症が改善した事例や長い期間歯を喪失せずに経過している事例等を紹介すると、歯周病に罹患している者や多くの歯を失っている者にも、励ましとして効果的です。

| おとなのオーラルケア健診結果 | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|   | 様 様の今回の健診結果は次のとおりです。日頃のオーラルケアを見直す参考にしてください。 |
| ③ | ① _____ 様 ② 西暦 _____ 年 _____ 月 _____ 日 |
| 判定区分 | <input type="checkbox"/> ①異常なし 未処置歯、要補綴歯 その他の所見が認められず <input type="checkbox"/> ②要指導 未処置歯、要補綴歯 その他の所見が認められず <input type="checkbox"/> ③要精密検査 |
| | <input type="checkbox"/> ①歯肉出血なしかつ歯周ポケットなし <input type="checkbox"/> ①歯肉出血ありかつ歯周ポケットなし <input type="checkbox"/> ②口腔清掃状態不良 <input type="checkbox"/> ③生活習慣や基礎疾患（糖尿病を除く）、歯科医療機関の受診状況等、指導を要する <input type="checkbox"/> ①歯石の付着あり <input type="checkbox"/> ②歯周ポケット4～5mm <input type="checkbox"/> ③歯周ポケット6mm以上 <input type="checkbox"/> ④未処置歯あり <input type="checkbox"/> ⑤要補綴歯あり <input type="checkbox"/> ⑥糖尿病の治療を行っている（糖尿病の指摘を受けたことがある等） <input type="checkbox"/> ⑦習慣的に喫煙している <input type="checkbox"/> ⑧生活習慣や基礎疾患等、さらに詳しい検査や治療を要する <input type="checkbox"/> ⑨その他の所見あり（更に詳しい検査や治療が必要な場合） |
| | お口のキレイ度（口腔衛生状態）は <input type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不良で、歯の本数は <input style="width: 50px;" type="text"/> 本でした。 |
| ⑥ 仙台市では、東北大学歯学部サークル「歯科医療研究会」と仙台歯科医師会により、若年期からのデンタルフロスの利用促進を目的に、 ハローフロスプロジェクト （ハロフロP）を推進し、お口のキレイ度向上のための活動を行っています（右図参照）。 | ⑦ 本日の歯科保健支援について、次の（ <input type="checkbox"/> 歯科医師・ <input type="checkbox"/> 歯科衛生士）が実施しました。 署名 _____ 医療機関名 _____ |

- ① 受診者の氏名を記入します。
- ② 受診日を記入します。
- ③ 判定区分にチェック（✓）を入れます。
- ④ お口のキレイ度（口腔衛生状態）にチェック（✓）を入れます。
- ⑤ 歯の本数を記入します。
- ⑥ お口のキレイ度向上のために（フロス使用を勧める対象者の場合は）ハローフロスプロジェクトの紹介を行います。
- ⑦ 職種にチェック（✓）を入れ、署名と医療機関名を記入します。

【③判定区分の説明後の支援例】

- ①異常なし：良好な状態です。これからも自己管理と「かかりつけ歯科医」での1年に1回以上の健診と歯石除去等の予防処置を受けながら、お口の健康を保つよう心がけましょう。
- ②要指導：歯周炎を今後発症する可能性が高いです。適切な自己管理ができるようにご自身に合った歯みがきや歯間部清掃法を身につけ、歯石除去など定期管理のための「かかりつけ歯科医」を持ちましょう。
- ③要精検：詳しい検査や治療が必要な状態です。生活習慣の改善や適切な自己管理ができるよう「かかりつけ歯科医」での定期管理を受けましょう。

(2) 健診結果に基づく歯科保健支援

健診結果の説明後は「歯周病の進行状況」「歯周病と全身疾患との関係」「喫煙の口腔への影響」などを受診者の理解度を確認しながら説明します。

⑧ **歯周病**は、歯垢中の歯周病原細菌によって引き起こされる感染性炎症性疾患で、歯の周りの歯肉に炎症が起こり、さらに進行すると歯を支えている骨がほとんど痛みを感じることなく溶けてしまい、歯の喪失につながる病気です。また、歯肉が下がることで露出した歯の根がむし歯になる**根面う蝕**にも注意が必要です。

⑨ 正常な状態 歯肉炎 歯周炎(軽度) 歯周炎(中度) 歯周炎(重度)

⑩

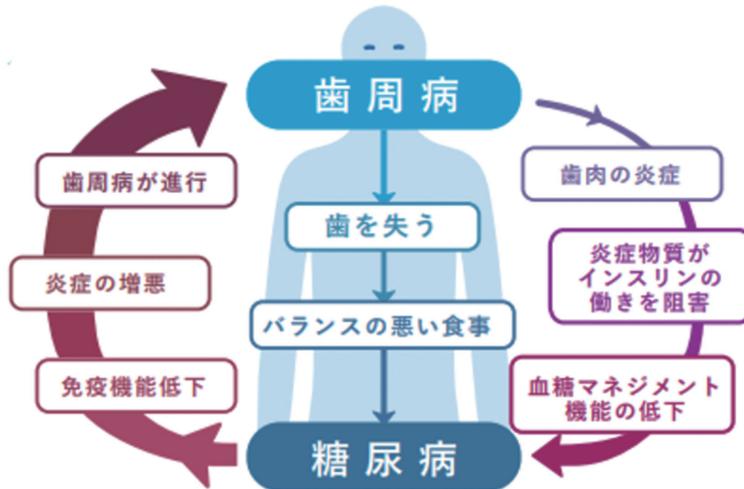
- ・ピンクで引き締まった歯肉
- ・歯肉溝は1mm程度
- ・歯周組織に保持されている
- ・歯に歯垢・歯石がつく
- ・歯肉が炎症をおこして赤く腫れる
- ・歯肉溝が少し深くなる
- ・ブラッシングで出血する
- ・歯肉がさらに腫れ赤紫になる
- ・歯周ポケットが深くなる
- ・歯槽骨が溶けはじめる
- ・ブラッシングで出血する
- ・歯肉は大きく膨らみ赤紫
- ・歯槽骨が溶け歯が動くようになる
- ・ブラッシングで膿や血が出る
- ・口臭が気になりはじめる
- ・歯肉は大きく膨らみ赤紫
- ・歯肉が後退して歯が長く見える
- ・歯がグラグラになり、やがて溶ける
- ・食事をしただけで膿や血が出る
- ・口臭が強くなる

- ⑧ 歯周病について説明するにあたり、チェック (✓) を入れます。
- ⑨ 歯周病の進行状態にチェック (✓) を入れ、受診者の現状を説明します。
- ⑩ 歯周病の進行度合いに応じて、今後起こりうる可能性のある症状について説明します。

- ① 歯周病と全身の関係については、昨今多くの関連が指摘されています。
特に**歯周病と糖尿病の関係**については、昨今多くの科学的根拠（エビデンス）が蓄積されています。

⑫ ●糖尿病は糖代謝異常により高血糖状態となる病気です。糖尿病による免疫機能の低下から、歯周組織の炎症が進み歯周病が悪化するため、歯周病は糖尿病の合併症とも言われています。

●歯周病により歯を失うことで、食べられる物が制限され、バランスの悪い食事になることで、糖尿病を始めとする生活習慣病のリスクが高まります。



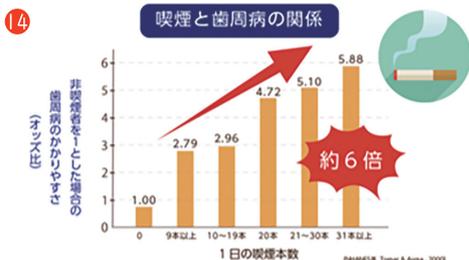
●多くの調査から、糖尿病患者の歯周病が進行することが判っており、歯周病のある糖尿病患者に歯周治療を行うことで、血糖コントロールに改善が見られることも知られています。

●歯周病と糖尿病は双方向的な関連があり、糖尿病のある方に歯周治療を行うことは、歯周病の改善だけではなく糖尿病のコントロールにも有効であると考えられます。

- ① 歯周病と糖尿病の関係について説明するにあたり、チェック（✓）を入れます。
⑫ 糖尿病の治療を行っている（又は糖尿病の指摘を受けたことがある等）場合、要精密検査となります。
受診者に歯周病と糖尿病の関係について、双方向性に悪影響があることを説明してください。

- ⑬ 喫煙の口腔への影響についても、多くの科学的根拠（エビデンス）が蓄積されています。

●喫煙者は非喫煙者比べて歯周病にかかりやすく、悪化しやすいことがわかっています。



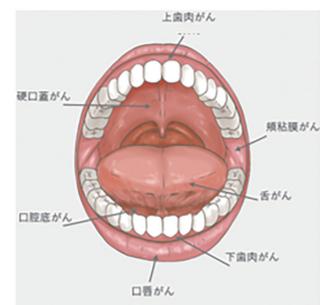
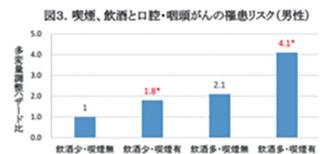
●さらに、喫煙者への歯周病の治療効果は低く、治療後の治りが悪いことが多くあります。

●しかし、禁煙することで歯を支える組織の状態が良くなるため、歯周病のリスクが下がり、治療効果の向上が期待できます。

⑮ 喫煙者は非喫煙者比べて口腔がんの発症リスクが高くなることが知られています。

●口腔がんは口の内側や舌、歯ぐき、唾液腺にでき、発症頻度が最も高いのは舌がんです。

●特に「舌に腫れや痛み、しこりがある」「口内炎が2週間以上経過しても治らない」「舌に白斑、または紅斑がある」「舌の側縁におし歯の詰め物や入れ歯が当たってこすれている」というような症状がある場合、かかりつけの歯科医院に相談することをお勧めします。



参考：国立研究開発法人国立がんセンター

- ⑬ 喫煙の口腔への影響について説明するにあたり、チェック（✓）を入れます。
⑭ 習慣的に喫煙している場合、要精密検査となります。
受診者に喫煙することによる口腔への影響について、また、禁煙することで歯周病のリスクが低下し、治療効果の向上も期待できることを説明してください。
⑮ 喫煙習慣により口腔がんの発症リスクが高まる可能性があることを説明してください。
また、異常を疑う場合は、東北大学病院歯科顎口腔外科などに紹介することも可能です。

歯みがきの説明では、実際に歯間清掃用具を使った歯と歯の清掃体験も有効です。受診者の状況に適した方法を選択し、セルフケアの実践支援を行います。

16 **歯周病と根面う蝕予防のポイント**自分に合った毎日の正しい歯みがきの継続

17 **POINT!** 歯ブラシの前にデンタルフロスや歯間ブラシを用いて、歯と歯の間の汚れ(細菌)を取り除きます。

POINT! 歯肉が下がって露出した歯の根面はむし歯になりやすく、根面う蝕とも呼ばれます。根面う蝕の予防には、デンタルフロスやフッ化物が効果的です。

隙間が狭い 隙間が広い

デンタルフロス 歯間ブラシ

デンタルフロスや歯間ブラシによる歯垢の除去 むし歯の原因(細菌など) フッ化物による細菌の抑制

歯と歯の間の汚れ(細菌)が少ないと、歯と歯の間にも歯みがき剤に含まれる有効成分が行き渡りやすくなります。

16 歯みがきの仕方について説明するにあたり、チェック(✓)を入れます。

17 デンタルフロスや歯間ブラシについては、個々の状況に応じて適切なポイントを説明してください。

18 **歯周病予防のポイント**は
かかりつけの歯科医院での定期健診&クリーニング

歯周ポケットの測定 汚れ(細菌)の除去

改善するまで繰り返す

19 歯垢は歯みがきでも除去できますが、**歯石は歯みがきでは除去できません**。歯周病を進行させる歯石や歯肉の下の汚れ(細菌)は歯科医院で除去しましょう!

20 **オーラルフレイル**とは、
口の機能の健全な状態と口の機能低下との間にある状態です。将来のフレイルや要介護認定、死亡のリスクが高くなることが懸念されるため、早めの気づきと予防が大切です。

★ **オーラルフレイル概念図**

21 口のまわりの“軽微な衰え”が積みかさなると... **オーラルフレイル**

健康口 フレイルサルコペニア低栄養

咀嚼困難感 固い食べものが噛めない 嚥下困難感 むせる・食べこぼす 口腔乾燥感 お口が渇く・ニオイが気になる

自分の歯が少ない 残存歯数の減少 清舌が悪い 清舌低下(舌口唇運動機能の低下)

一般社団法人 日本老年医学会 一般社団法人 日本老年歯科医学会 一般社団法人 サルコペニア・フレイル学会

18 歯科医院での健診やクリーニングについて説明するにあたり、チェック(✓)を入れます。

19 歯石の付着が認められる場合や歯周病が進行している場合に、歯科医院でどのように改善していくか説明してください。

20 オーラルフレイルについて説明するにあたり、チェック(✓)を入れます。

21 オーラルフレイルは高齢期のみの問題ではありません。口のまわりの軽微な衰えは働き盛り世代から既に少しずつ進行するため、例えば、食事の最初の1口目を30回噛むなど、日常生活の中で継続しやすいオーラルフレイル予防を説明してください。

(3) 医療機関記入欄の記載の流れ

22 受診者区分 0円：□1.20歳・70歳 □2.30歳以上の仙台市国民健康保険加入者 □3.生活保護世帯・中国残留邦人等に対する支援給付の受給世帯・市民税非課税世帯
500円：□4.一般（上記1～3以外）

23 (1) 歯の状況

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 右 | | | | | | | | | | | | | | | 左 |
| 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |

①健全歯数(/) ⑤要補綴歯数(Δ) ⑨その他(楔状欠損など)

②未処置歯数(C, R, RC) ⑥処置歯数(○)

③未処置歯数(Cのみ) ⑦現在歯数(①+②+⑥)

④喪失歯数(Δ, ⊙) ⑧DMF歯数(②+④+⑥)

25 (3) 歯肉の状況 (永久歯列)

※前歯部の対象歯が欠損している場合は、反対側同名歯を検査対象とする。

| | | |
|---------|----|---------|
| 17または16 | 11 | 26または27 |
| BOP | | |
| PD | | |
| BOP | | |
| PD | | |
| 47または46 | 31 | 36または37 |

歯肉出血 (BOP) 歯周ポケット (PD) 歯石の付着状況

最大コード 最大コード 1: なし

0: 健全 0: 4mm未満 2: 軽度(点状)あり

1: 出血あり 1: 4mm以上6mm未満 3: 中等度(帯状)以上あり

9: 除外歯 2: 6mm以上 9: 除外歯

×: 該当歯なし ×: 該当歯なし

24 (2) 補綴治療の必要がある欠損部位の有無 1. なし 2. あり

26 (4) 歯列・咬合の状況 1. 所見なし 2. 所見あり(叢生、上顎前突、下顎前突、開咬等)

27 (5) 顎関節の症状 1. 所見なし 2. 所見あり(顎関節痛、顎関節脱臼等)

28 口腔粘膜【部位:舌・歯肉・頬粘膜・口唇・口蓋等】 **(6)色** 1. 所見なし 2. 所見あり(白斑、紅斑、黒変等) **(7)形状** 1. 所見なし 2. 所見あり(びらん、亀裂、潰瘍、肥厚、腫瘤等)

29 (8) 口腔衛生状態 1. プラークの付着なし 2. 普通(1,3以外) 3. 不良(1歯以上の歯の歯肉縁に歯面の1/3を超えてプラークが認められる)

30 判定区分

□1.異常なし 未処置歯、要補綴歯、その他の所見が認められず □1. CPI歯肉出血なしかつ歯周ポケットなし

□2.要指導 未処置歯、要補綴歯、その他の所見が認められず □1. CPI歯肉出血ありかつ歯周ポケットなし

□3.要精密検査 □2.口腔清掃状態不良

□1. 歯石の付着あり □2. CPI歯周ポケット4～5mm □3. CPI歯周ポケット6mm以上 □4. 未処置歯あり

□5. 要補綴歯あり □6. 糖尿病の治療を行っている(又は糖尿病の指摘を受けたことがある等) □7. 習慣的に喫煙している

□8. 生活習慣や基礎疾患等、さらに詳しい検査や治療を要する □9. その他の所見あり(更に詳しい検査や治療が必要な場合)

31 歯科保健支援内容

□1. 健診結果についての説明 □4. 糖尿病や呼吸器疾患などの全身疾患との関連についての説明

□2. 歯間ブラシやデンタルフロスの使用方法の体験等を含む歯みがき方法の説明 □5. 年に1回以上定期的に歯科健診を受ける重要性についての説明

□3. 禁煙や甘味摂取習慣などの適切な生活習慣についての説明 □6. その他()

32 市への連絡事項

□1. 当院にて経過観察・定期健診予定 □2. 当院にて精密検査・治療予定 □3. 他医療機関(歯科)を受診勧奨

□4. 他医療機関(医師)を受診勧奨 □5. 未定 □6. その他()

33 医療機関名

34 診査所要時間()分
実施体制: 歯科医師()人 歯科衛生士()人 左記以外()人

22 受診者区分について、受付時に必ず確認してください。

23 歯の状況について、右図に示す符号を用いて記載してください。

特に、根面部のう蝕(R)や根面部う蝕及び歯冠部のう蝕(RC)はこれまでになかった符号となるため、特に注意してください。

健診後、①健全歯数から⑨その他まで表に歯数を記載してください。

24 要補綴治療の有無を記載してください。

25 歯肉の状況について、BOP、PD、歯石の付着状況について記載してください。

26 歯列、咬合の状況について記載してください。「2. 所見あり」の後に、所見の例を示しますので参考にしてください。

27 顎関節の状況について記載してください。「2. 所見あり」の後に、所見の例を示しますので参考にしてください。

28 口腔粘膜の状態について記載してください。診察部位について例示しますので、参考にしてください。

なお、部位をマルで囲むなど不要です。「2. 所見あり」の後に、所見の例を示しますので参考にしてください。

29 口腔衛生状態について記載してください。

30 判定区分について、記載してください。「歯石の付着あり」「糖尿病の治療を行っている(又は糖尿病の指摘を受けたことがある等)」「習慣的に喫煙している」場合、要精密検査と判定されます。

31 歯科保健支援内容に記載の1. から5. については必ず実施してください。

32 市への連絡事項について、今後の方針を踏まえ、記載してください。その際、例え異常なしの判定であっても定期歯科健診を継続することの重要性について、説明してください。

33 医療機関名を記載してください。

34 診査日と診査所要時間、実施体制について記載してください。

【記入にあたり用いる符号】

- 健全歯 : /
- 未処置歯 : C (歯冠部のう蝕)
- : R (根面部のう蝕)
- : RC (根面部のう蝕+歯冠部のう蝕)
- : Δ (要補綴歯)
- : ⊙ (義歯、ポンティック、インプラント)

(注) 先天性欠如または何らかの理由で歯を喪失したことがあきらかであっても、歯列等の関係から補綴治療の必要性が認められないものは「×」を記入

処置歯 : ○ (充填歯、クラウン、ブリッジ支台)

おとなのオーラルケア健康診査票 (20歳・30歳・40歳・50歳・60歳・70歳のオーラルケア)

健診日 令和 年 月 日 No.

以下の太枠の中に必要事項を記入し、該当事項に○をつけてください。

| | | | |
|-------------------|------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| ふりがな 氏名 | | 性 男 住 仙台市(青葉・宮城野・若林・太白・泉)区 別 女 所 | 電話番号 () - () |
| 生年月日 (年度末年齢) | 西暦 年 月 日 歳 | 職業等 | 1. 会社員 2. 自営業者 3. 学生 4. 無職 5. その他 () |
| 確認事項 | | 生活保護世帯・中国残留邦人等に対する支援給付に対する支援給付の受給世帯または市民税非課税世帯に 1. 該当する 2. 該当しない | |
| 質問 | | 回答 | |
| 1 | 現在、ご自分の歯や口、あごの状態でご気になることはありますか | 1. ない 2. ある | 14 直近で、歯科医院にいつ頃行きましたか |
| 2 | 「ある」とお答えになった方は、あてはまるもの全てに○を付けてください | 1. 歯の状態や痛み 2. 外観 3. 発音 4. 口臭 5. 歯ぐきの状態や痛み 6. かみ具合 7. 口の渇き 8. あごの痛み 9. 歯ぐきしりや食いしばりなどの習癖 10. 口の中にできものがある 11. はさまる 12. しみる 13. その他 () | 15 えになった方は、どのような目的で行きましたか |
| 3 | 「歯ぐきの状態・痛み」とお答えになった方はあてはまるもの全てに○を付けてください | 1. 痛みがある 2. 歯をみがくと血が出る 3. はれてプヨプヨする 4. 歯ぐきが下がっている 5. 歯がぐらぐらする | 16 その際に、「歯周病の治療が必要です」と言われましたか |
| 4 | 自分は歯周病だと思いますか | 1. 思わない 2. 思う | 17 かかりつけの歯科医院がありますか |
| 5 | 食事をかんで食べる時の状態はどれにあてはまりますか | 1. 何でもかんで食べることができる 2. 歯や歯ぐき、かみ合わせなど気になる部分があり、かみにくいことがある 3. ほとんどかめない | 18 ご自分の歯は何本ありますか(さし歯は含み、親知らず、入れ歯、ブリッジ、インプラントは含みません) |
| 6 | 冷たいものや熱いものが歯にしみますか | 1. しみない 2. 時々しみる 3. いつもしみる | 19 次の病気について、指摘されたことがありますか |
| 7 | 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか | 1. いいえ 2. はい | あてはまるものすべてに○をつけてください |
| 8 | お茶や汁物等でむせることがありますか | 1. いいえ 2. はい | 20 【女性の方にお伺いします】 現在、妊娠していますか(その可能性がある場合も含みます) |
| 9 | 歯をみがく頻度はどのくらいですか | 毎日みがく(1. 1回 2. 2回 3. 3回以上) 4. ときどきみがく 5. みがかない | 21 甘味食品や甘味飲料(炭酸飲料や缶コーヒー等)をとる習慣はありますか |
| 10 | 「毎日みがく」または「ときどきみがく」とお答えになった方は、歯をいつみがくか、あてはまるもの全てに○を付けてください | 1. 朝食後 2. 昼食後 3. 夕食後 4. 夜寝る前 5. その他 () | 22 使用している歯みがき剤は、フッ化物配合ですか |
| 11 | 歯間ブラシまたはフロスを使っていますか | 1. 毎日 2. 時々 3. いいえ | 23 歯科健診を受診した理由は何ですか |
| 12 | ゆっくりよくかんで食事をしますか | 1. 毎日 2. 時々 3. いいえ | あてはまるものすべてに○をつけてください |
| 13 | たばこを吸っていますか | 1. 吸っていない(吸ったことがない、やめた) 2. 吸っている | 1. 健康のために必要だと感じたから 2. 歯や口の状態でご気になる場所があったから 3. 受診勧奨のお知らせがあったから 4. その他 () |

受診者区分 0円:□1.20歳、70歳 □2.30歳以上の仙台市国民健康保険加入者 □3.生活保護世帯・中国残留邦人等に対する支援給付の受給世帯・市民税非課税世帯
500円:□4.一般(上記1~3以外)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|---------|----|---------|-----|--|--|----|--|--|-----|--|--|----|--|--|---------|----|---------|
| (1) 歯の状況 | | (3) 歯肉の状況(永久歯列) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>右</td> <td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> <td>左</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td> <td></td> </tr> </table> | | 右 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 左 | | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | <p>※前歯部の対象歯が欠損している場合は、反対側同名歯を検査対象とする。</p> <table border="1"> <tr> <td>17または16</td> <td>11</td> <td>26または27</td> </tr> <tr> <td>BOP</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PD</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>BOP</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>PD</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>47または46</td> <td>31</td> <td>36または37</td> </tr> </table> | | 17または16 | 11 | 26または27 | BOP | | | PD | | | BOP | | | PD | | | 47または46 | 31 | 36または37 |
| 右 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 左 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 17または16 | 11 | 26または27 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| BOP | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| PD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| BOP | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| PD | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 47または46 | 31 | 36または37 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>①健全歯数(ノ)</p> <p>②未処置歯数(C,R,RC)</p> <p>③未処置歯数(Cのみ)</p> <p>④喪失歯数(Δ,⊙)</p> <p>⑤要補綴歯数(Δ)</p> <p>⑥処置歯数(○)</p> <p>⑦現在歯数(①+②+⑥)</p> <p>⑧DMF歯数(②+④+⑥)</p> <p>⑨その他(楔状欠損など)</p> | | <p>歯肉出血(BOP) 最大コード □ 0:健全 □ 1:出血あり □ 9:除外歯 □ ×:該当歯なし</p> <p>歯周ポケット(PD) 最大コード □ 0:4mm未満 □ 1:4mm以上6mm未満 □ 2:6mm以上 □ 9:除外歯 □ ×:該当歯なし</p> <p>歯石の付着状況 1:なし □ 2:軽度(点状)あり □ 3:中等度(帯状)以上あり □</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 補綴治療の必要がある欠損部位の有無 1. なし 2. あり | | (4) 歯列・咬合の状況 1. 所見なし 2. 所見あり(叢生、上顎前突、下顎前突、開咬等) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 顎関節の症状 1. 所見なし 2. 所見あり(顎関節痛、顎関節脱臼等) | | 口腔粘膜【部位:舌・歯肉・頬粘膜・口唇・口蓋等】 (6) 色 1. 所見なし 2. 所見あり(白斑、紅斑、黒変等) (7) 形状 1. 所見なし 2. 所見あり(びらん、亀裂、潰瘍、肥厚、腫瘍等) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (8) 口腔衛生状態 1. プラークの付着なし 2. 普通(1,3以外) 3. 不良(1歯以上の歯の歯肉縁に歯面の1/3を超えてプラークが認められる) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 判定区分 | □1. 異常なし [未処置歯、要補綴歯、その他の所見が認められず] | □1. CPI歯肉出血なしかつ歯周ポケットなし |
| | □2. 要指導 [未処置歯、要補綴歯、その他の所見が認められず] | □1. CPI歯肉出血ありかつ歯周ポケットなし □2. 口腔清掃状態不良 □3. 生活習慣や基礎疾患(糖尿病を除く)、歯科医療機関受診状況等指導を要する |
| 歯科保健支援内容 | □3. 要精密検査 □1. 歯石の付着あり □2. CPI歯周ポケット4~5mm □3. CPI歯周ポケット6mm以上 □4. 未処置歯あり □5. 要補綴歯あり □6. 糖尿病の治療を行っている(又は糖尿病の指摘を受けたことがある等) □7. 習慣的に喫煙している □8. 生活習慣や基礎疾患等、さらに詳しい検査や治療を要する □9. その他の所見あり(更に詳しい検査や治療が必要な場合) | □4. 糖尿病や呼吸器疾患などの全身疾患との関連についての説明 □5. 年に1回以上定期的に歯科健診を受ける重要性についての説明 □6. その他() |
| | □1. 健診結果についての説明 □2. 歯間ブラシやデンタルフロスの使用方法の体験等を含む歯みがき方法の説明 □3. 禁煙や甘味摂取習慣などの適切な生活習慣についての説明 | □1. 当院にて経過観察・定期健診予定 □2. 当院にて精密検査・治療予定 □3. 他医療機関(歯科)を受診勧奨 □4. 他医療機関(医師)を受診勧奨 □5. 未定 □6. その他() |
| 市への連絡事項 | 診査所要時間 () 分 実施体制: 歯科医師 () 人 歯科衛生士 () 人 左記以外 () 人 | |
| 医療機関名 | | |



おとなのオーラルケア健診結果

様 さんの今回の健診結果は次のとおりです。日頃のオーラルケアを見直す参考にしてください。 西暦 年 月 日

| | | |
|------|----------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 判定区分 | <input type="checkbox"/> ①異常なし 未処置歯、要補綴歯 その他の所見が認められず | <input type="checkbox"/> ①歯肉出血なしかつ歯周ポケットなし |
| | <input type="checkbox"/> ②要指導 未処置歯、要補綴歯 その他の所見が認められず | <input type="checkbox"/> ①歯肉出血ありかつ歯周ポケットなし <input type="checkbox"/> ②口腔清掃状態不良 <input type="checkbox"/> ③生活習慣や基礎疾患（糖尿病を除く）、歯科医療機関の受診状況等、指導を要する |
| | <input type="checkbox"/> ③要精密検査 | <input type="checkbox"/> ①歯石の付着あり <input type="checkbox"/> ②歯周ポケット4～5mm <input type="checkbox"/> ③歯周ポケット6mm以上 <input type="checkbox"/> ④未処置歯あり <input type="checkbox"/> ⑤要補綴歯あり <input type="checkbox"/> ⑥糖尿病の治療を行っている（糖尿病の指摘を受けたことがある等） <input type="checkbox"/> ⑦習慣的に喫煙している <input type="checkbox"/> ⑧生活習慣や基礎疾患等、さらに詳しい検査や治療を要する <input type="checkbox"/> ⑨その他の所見あり（更に詳しい検査や治療が必要な場合） |

お口のキレイ度（口腔衛生状態）は 良好 普通 不良で、歯の本数は 本でした。

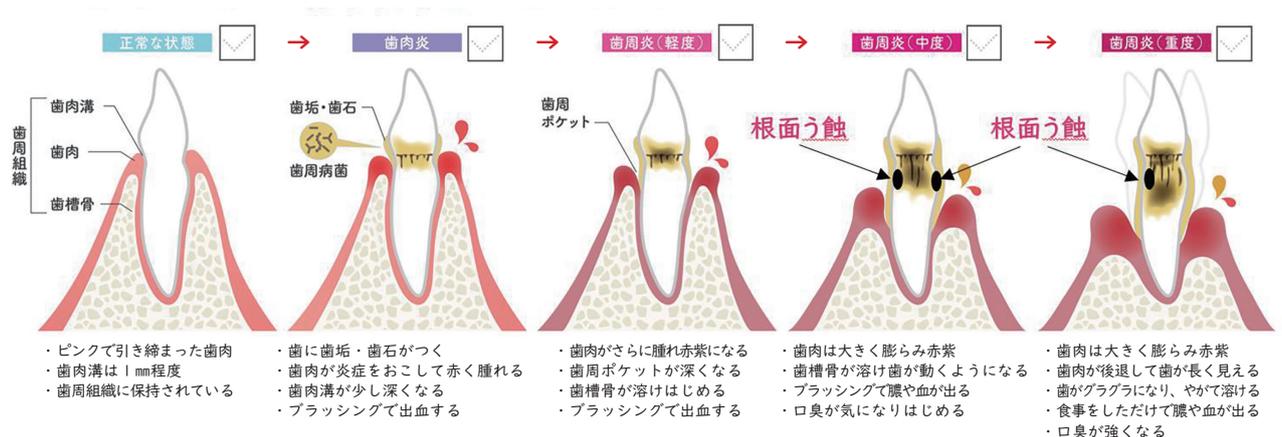
仙台市では、東北大学歯学部サークル「歯科医療研究会」と仙台歯科医師会により、若年期からのデンタルフロスの利用促進を目的に、[ハローフロスプロジェクト](#)（ハロフロP）を推進し、お口のキレイ度向上のための活動を行っています（右図参照）。



本日の歯科保健支援について、次の（歯科医師・歯科衛生士）が実施しました。

署名 医療機関名

歯周病は、歯垢中の歯周病原細菌によって引き起こされる感染性炎症性疾患で、歯の周りの歯肉に炎症が起こり、さらに進行すると歯を支えている骨がほとんど痛みを感じることなく溶けてしまい、歯の喪失につながる病気です。また、歯肉が下がることで露出した歯の根がむし歯になる**根面う蝕**にも注意が必要です。

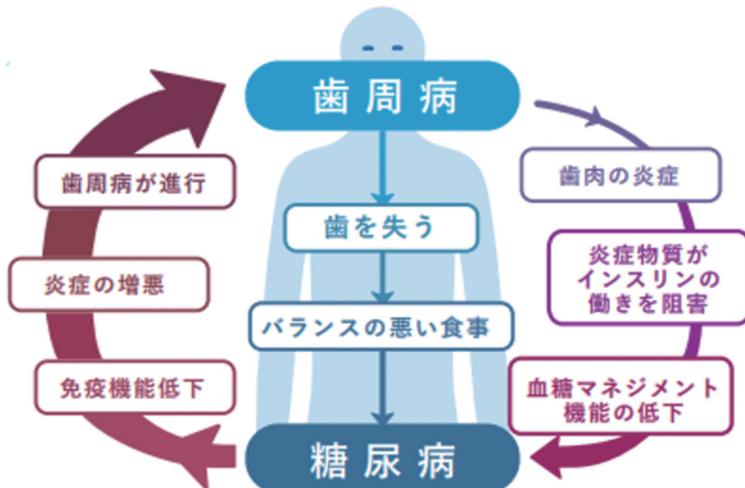


歯周病と全身の関係については、昨今多くの関連が指摘されています。

特に歯周病と**糖尿病**の関係については、昨今多くの科学的根拠（エビデンス）が蓄積されています。

●糖尿病は糖代謝異常により高血糖状態となる病気です。糖尿病による免疫機能の低下から、歯周組織の炎症が進み歯周病が悪化するため、歯周病は糖尿病の合併症とも言われています。

●歯周病により歯を失うことで、食べられる物が制限され、バランスの悪い食事になることで、糖尿病を始めとする生活習慣病のリスクが高まります。

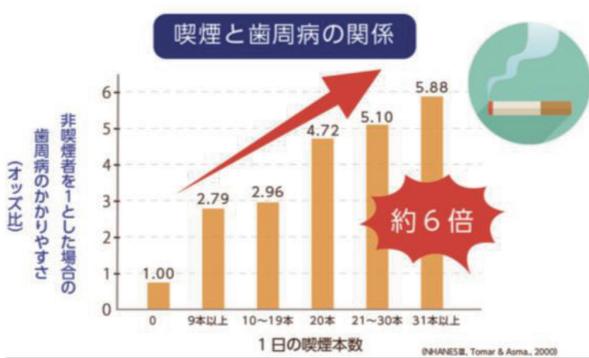


●多くの調査から、糖尿病患者の歯周病が進行することが判っており、歯周病のある糖尿病患者に歯周治療を行うことで、血糖コントロールに改善が見られることも知られています。

●歯周病と糖尿病は双方向的な関連があり、糖尿病のある方に歯周治療を行うことは、歯周病の改善だけではなく糖尿病のコントロールにも有効であると考えられます。

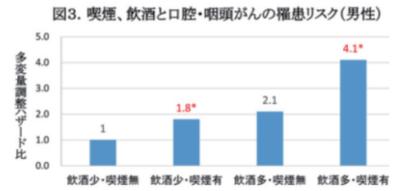
☑ **喫煙の口腔への影響**についても、多くの科学的根拠（エビデンス）が蓄積されています。

●喫煙者は非喫煙者に比べて歯周病にかかりやすく、悪化しやすいことがわかっています。

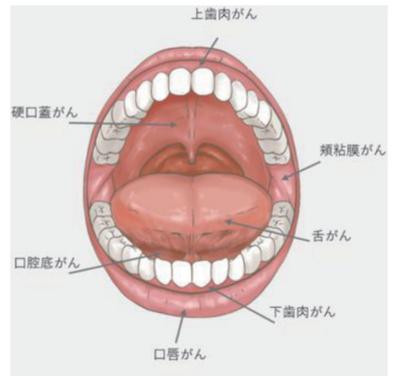


●さらに、喫煙者への歯周病の治療効果は低く、治療後の治りが悪いことが多くあります。
●しかし、禁煙することで歯を支える組織の状態が良くなるため、歯周病のリスクが下がり、治療効果の向上が期待できます。

●喫煙者は非喫煙者に比べて口腔がんの発症リスクが高くなることが知られています。



●口腔がんは口の内側や舌、歯ぐき、唾液腺にでき、発生頻度が最も高いのは舌がんです。

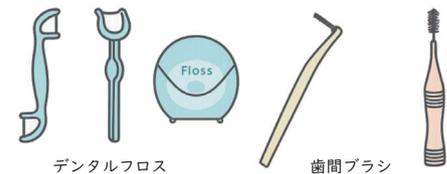


参考：国立研究開発法人国立がんセンター

●特に「舌に腫れや痛み、しこりがある」「口内炎が2週間以上経過しても治らない」「舌に白斑、または紅斑がある」「舌の側縁におし歯の詰め物や入れ歯が当たってこすれている」というような症状がある場合、かかりつけの歯科医院に相談することをお勧めします。

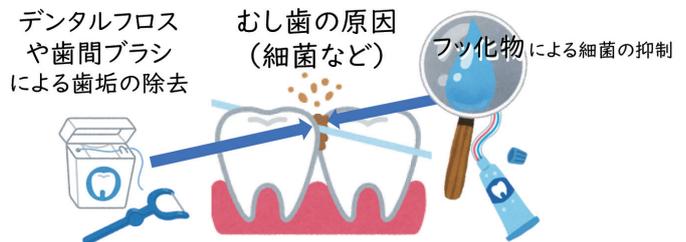
歯周病とう蝕予防のポイント自分に合った毎日の正しい歯みがきの継続

POINT! 歯ブラシの前にデンタルフロスや歯間ブラシを用いて、歯と歯の間の汚れ(細菌)を取り除きます。



歯と歯の間の汚れ(細菌)が少ないと、歯と歯の間にも歯みがき剤に含まれる有効成分が行き渡りやすくなります。

POINT! 歯肉が下がって露出した歯の根面はむし歯になりやすく、根面う蝕とも呼ばれます。根面う蝕の予防には、デンタルフロスやフッ化物が効果的です。



☑ **歯周病予防のポイント**は
かかりつけの歯科医院での
定期健診&クリーニング



歯垢は歯みがきでも除去できますが、**歯石は歯みがきでは除去できません**。歯周病を進行させる歯石や歯肉の下の汚れ(細菌)は歯科医院で除去しましょう!

☑ **オーラルフレイル**とは、口の機能の健全な状態と口の機能低下との間にある状態です。将来のフレイルや要介護認定、死亡のリスクが高くなる懸念されるため、早めの気づきと予防が大切です。

★ **オーラルフレイル概念図**



一般社団法人 日本老年医学会
一般社団法人 日本老年歯科医学会
一般社団法人 サルコペニア・フレイル学会

参考資料（参考文献）

- (1) 特定非営利活動法人 日本歯周病学会．歯周治療のガイドライン 2022．医歯薬出版，2022．
- (2) 特定非営利活動法人 日本歯周病学会．糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン 改訂第3版 2023．医歯薬出版，2023．
- (3) Kässer, UR, et al. Risk for periodontal disease in patients with longstanding rheumatoid arthritis. *Arthritis Rheum*, 1997. 40(12).
- (4) 小林哲夫ら．歯周炎と関節リウマチ—関連性と臨床対応—．*日歯周誌* 2012, 2012. 54(1).
- (5) 令和4年度厚生労働科学研究「成人期における口腔の健康と全身の健康の関係性の解明のための研究」
- (6) Wu, T, et al. Periodontal disease and risk of cerebrovascular disease. The first national health and nutrition examination survey and its follow-up study. *Arch Intern Med*, 2000. 160.
- (7) 栗原伸久ら．動脈疾患における新しい危険因子—歯周病菌と動脈病変の関連性について—*脈管学*, 2004. 44(12).
- (8) Kurihara, N, et al. Detection and localization of periodontopathic bacteria in abdominal aortic aneurysms. *Eur J Vasc Endovasc Surg*, 2004. 28(5).
- (9) 令和元年度厚生労働科学研究「口腔の健康と全身の健康の関連の文献レビューと因果推論手法の提案」
- (10) 特定非営利活動法人 日本歯周病学会．歯周病と全身の健康．医歯薬出版，2015.68
- (11) U.S. Department of Health and Human Services. A Report of the Surgeon General 2014, 2014.
- (12) Joshi, Vinayak, et al. Smoking decreases structural and functional resilience in the subgingival ecosystem. *J Clin Periodontol*, 2014.41(11).
- (13) Nakagawa, S, et al. A longitudinal study from prepuberty to puberty of gingivitis. Correlation between the occurrence of *Prevotella intermedia* and sex hormones. *J Clin Periodontol*, 1994. 21(10).
- (14) Jeffcoat, Marjorie K, et al. Periodontal disease and preterm birth: results of a pilot intervention study. *J Periodontol*, 2003. 74(8).67
- (15) Matsuzawa, Yuji. Therapy Insight: adipocytokines in metabolic syndrome and related cardiovascular disease. *Nat clinical practice Cardiovascular medicine*, 2006. 3(1).
- (16) Periodontal disease and diabetes mellitus: the role of tumor necrosis factor- α in a 2-way relationship. Nishimura, Fusanori, et al. *J periodontology*, 2003. 74.

